

交通計画

地下鉄開業後～10年

- 地下鉄東西線開業（2015年）に合わせて、通勤通学の公共交通機関への移行を図り、駐車場を削減する。
- 地下鉄開業後、現状の8割に駐車スペースを削減、また開業後10年後には6割に削減することを目指す。さらに実験棟の集約等による駐車場増設も併せ、グラウンドの早期復元を図る
- 地形の高低差等を考慮し、明確でシンプルなキャンパス内の主要自動車動線を整備する。
- 主要自動車動線に沿って、ゾーン毎に駐車場を集約配置する。
- 各主要建物の正面はエントランスとして駐車場を移動し、顔となる空間を形成する。
- 学内バスなどによる安全な移動手段について、関係機関や他キャンパスと検討を行う。

